

かわさきしちょうかくしょうがいしゃじょうほうぶんか

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

8月27日(日) 麻生区にて行われた、川崎市総合防災訓練に参加しました

1. 負傷者応急救護訓練

麻生区聴覚障害者協会、麻生区内にある手話サークル「イルカ」「槇の会」のメンバーで参加。麻生区自主防災組織の皆さまと、「共助」の考え方に基づき、負傷者の応急救護訓練を行いました。5人のろう者が負傷者役となりました。手話サークルメンバーがコミュニケーションのサポートをしつつ、身振り等も使いながら直接コミュニケーションが図られる場面もありました。

2. 防災展示

川崎市聴覚障害者災害対策委員会のメンバーが、一般来場者向けに、啓発活動を行いました。この訓練には毎年参加していますが、今年初めての試みとして、難聴疑似体験が出来るヘッドフォンを準備。ヘッドフォンから雑音が出て、周囲の会話音が聞こえづらくなります。来場者の方々にこのヘッドフォンを装着してもらい、音声会話が難しい状態で、聴覚障害者と筆談でやりとりを行う経験をしていただきました。

負傷者救護訓練の様子



瓦礫より救出!



麻生区自主防災組織の方がリヤカーを引いています



様々な手当てを受けています

防災展示の様子



筆談器を用いてのやりとり



難聴疑似体験でヘッドフォンを装着している様子



会場の様子



救急車や自衛隊の装甲車など



ふろん太くんも来ていました

「聴こえない」という障害は、目で見て分かりづらく、また体験することも難しいため、なかなか理解が難しい面がありますが、工夫をしながら伝え続けていきたいと思っています。

聴覚障害者災害訓練

9月17日（日）、川崎市内の7区（7カ所）で、聴覚障害者災害訓練を実施。聴覚障害者自らが安否のメールを、当センターの災害専用アドレスに送信する訓練を行いました。この日は66人の聴覚障害者と送受信を行いました。毎年のことですが、名簿の更新（避難所の確認も兼ねる）も行いました。上記の訓練の他に、各区のろう協と手話サークルが協力しあいながら、独自の訓練プログラムを企画・実行しました。

日頃の活動にお忙しい方々ばかりですが、ろう協とサークルとで話し合いを持つ機会を作っていただき、密に連絡を取り合って災害時に備えていただけたらと思います。



◎補聴器とコミュニケーションの講座◎

①初めて川崎区で開催。

8月3日、10日、17日の木曜日の3日間、川崎駅前の川崎ルフロンの8階、福祉パルかわさを会場に講座を開催しました。40名を超える申し込みがありましたが、今後、情文センター、麻生老人福祉センターでも開催するので交通の便がそちらの方がいい人は変更をお願いしました。

3日間を通してのべ72名の参加がありました。補聴器についての講師は、（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の情報文化部長であり、認定補聴器技能者でもある小川光彦氏。26枚にもわたるパワーポイントのスライドでわかりやすく説明していただきました。また、川崎区社会福祉協議会の方々に様々なご協力をいただきました。



川崎区で開催。補聴器についての講義の様子



センターで開催した時の様子

②川崎市聴覚障害者情報文化センターでの開催。

10月5日、12日、19日、26日の4日間、こちらにもたくさんの申し込みがありました。講座のスタッフを務める、NPO 法人川崎市中途失聴・難聴者協会の皆さんもいつも利用しているセンターであるのとスタッフ歴を重ねてきたこともあり準備がスムーズに進みます。

4日間を通して、のべ112名の参加がありました。ループの受信機を貸し出して、講師の話をよく聞こえる環境にしました。

どちらの講座でも、「難聴や補聴器に関する情報が得られて良かった」「孤立していましたが勇気が出てきました」などの好評の感想をいただきました。来年2月にはこれも又初めての麻生区での開催です。より多くの聞こえに悩む市民の方々に参加してほしいと思います。

【補聴器とコミュニケーションの講座／麻生区】

日時：2月2日、9日、16日、23日 毎週金曜 全4回 13：30～15：30

場所：麻生老人福祉センター

※詳しい内容は、チラシやセンターホームページをご覧ください。

◎第3・4回聴覚障害者福祉講座報告◎

9月10日（日）、川崎市産業振興会館にて今年度3回目の聴覚障害者福祉講座を行いました。この日は、元川崎市聴覚障害者情報文化センター所長 本多綾乃氏に「手話奉仕員・手話通訳者養成について学ぶ」というテーマでご講演いただきました。現在川崎市では、厚生労働省カリキュラムに基づいて養成講座を行っていますが、講座の全体像やカリキュラムができた背景などについて学んだうえで、養成講座での区ろう協・手話サークルの役割について意見交換を行いました。今後、養成講座の企画運営にあたる際などで参考にしていただければと思います。

10月29日（日）には、川崎市生涯学習プラザにて、川崎市総合防災訓練の参加報告・聴覚障害者災害訓練の報告を各区よりいただく予定でしたが、台風22号の接近により、断腸の思いで中止としました。今年は、聴覚障害者災害訓練当日も台風の影響があったのですが、240人と例年通りの参加をいただき、災害対策に関して皆さんが非常に興味を持っていることが伺えただけに非常に残念でした。



グループディスカッションの様子



今年度最後の聴覚障害者福祉講座は、平成30年1月28日（日）13:45～16:30 川崎市総合自治会館ホールにて「小中学校の子どもたちに、聴覚障害理解を広めるための授業について考えよう」というテーマで行ないます。今年は、実際に授業を行っている場面の実演も入る予定ですので、ぜひご参加ください。皆さまのお越しをお待ちしております。

◎ろう者・難聴者のための健康学習会予告◎

平成15年から続けている学習会です。毎年違ったテーマを考え、中原区役所保健福祉センターのご協力を得ています。今年度のテーマは「血圧の基本のキホン」。血圧が高いといけなとか、数値がどうか、血圧に気を付けようなど普段深く考えないで話していますがそもそも血圧とは何なのでしょう？また血圧によってどんな病気などが考えられるのでしょうか。

中原区役所保健福祉センターの医師の近藤剛史先生に講話をしていただきながら、ろうグループ、難聴グループに分かれグループワークを行います。グループワークの発表で、お互いに気づきあい今後の健康を守る取り組みにつなげていきたいと思います。

聴覚障害者は、「耳学問」による健康の維持が難しい、健康に関する情報が入ってこない、という状況からこの学習会は始まりました。是非多くの方の参加をお待ちしています。

【ろう者・難聴者のための健康学習会】

日時：11月28日（火）13:00～血圧測定 13:30～16:00

場所：川崎市聴覚障害者情報文化センター 研修室

※11月23日（木）までに、氏名、生年月日、住所、FAX番号、必要な情報保障（手話通訳・要約筆記）を記入して044-798-8804にファックスでお申し込みください。



手話奉仕員養成講座入門編 終了報告

手話奉仕員養成講座〈入門編〉(高津区コース・麻生区コース)が9月に終了しました。

両コースとも5月に開講。高津区コースは36名、麻生区コースは30名でスタートしました。

修了者は、高津区コース29名、麻生区コース21名の合計50名です。

今年度、定員をはるかに超える応募があり、希望する方全員に受講していただくことができません残念でした。今後もさらに、手話やろう者、そして聴覚障害についての理解を深め、地域で活躍していただければと思います。

最後になりましたが、実技指導を担当してくださった講師の方々をはじめ、開催地区のろう協・手話サークルの皆さまには、講座開始前から長期間大変お世話になりました。

登録手話通訳者現任研修 報告

【8月25日(金)／実技研修】

6月の通訳者団研修で使用した3教材(日本語文)を使い、事前に、NPO法人川崎市ろう者協会の方々の協力を得て、3教材の手話翻訳文を用意して実施しました。当日は、1グループ1教材で3グループに分かれ、手話構文の仕組みを理解するところからスタートしました。仕組みを理解したうえで、取り組んだのは再生トレーニング。ろう者のチェックを受け充実した研修になりました。最後に、3教材すべての翻訳文を全員で見えて終了しました。

【10月27日(金)／実技面談を振り返って】

グループにわかれ、今年度実技面談で使用した題材の内容とポイントを確認。その後は、それぞれ異なる課題に取り組みました。Aグループの課題は、手話構文“反応”について学ぶ実技研修、Bグループは、依頼書受信から派遣日までの事前準備に関する研修、Cグループは場面を設定しての事例研修。グループワークを終えた後は、それぞれの内容を報告してもらい、全員で課題の共有を行いました。

現任研修の時間は1時間半。限られた時間ですが、次の派遣につながる研修になるよう毎回内容を組み立てています。特に実技研修では、様々な形でNPO法人川崎市ろう者協会の方々にご協力をいただき、充実した研修が実施できています。ご協力ありがとうございます。

手話通訳者養成講座通訳Ⅲ 終了報告

9月10日～11月5日の5日間、手話通訳者養成講座〈通訳Ⅲ〉を行いました。受講生は10名です。これまで実践課程として行ってきたこの講座ですが、今年は新テキストの採用に伴い、新しくスタートしました。ところが10月の日曜日に2度訪れた台風で休講を余儀なくされ、急遽補講を行う等の調整が必要となりました。

講師の皆さん、受講生の皆さんと一緒になんとか終了日を迎えることとなりました。12月の統一試験まであと1ヶ月。皆さん、体調に十分気を付けて実力を最大限発揮できるよう願っています。

登録要約筆記者現任研修 報告

7月22日(土)・10月15日(日)、情報文化センター研修室にて、登録要約筆記者現任研修(情報文化センター担当)を実施しました。

7月22日(土)は「事例検討」で、参加者16名(要約筆記者15名・NPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会1名)でした。今年度は全体投影(OHP・OHC・PC)での現場2例の事例についてグループ討議・発表を行い、発表について、NPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会参加者とセンター職員から感想等を伝えました。(グループは手書き・パソコン・兼任の方がなるべく分かれるようにしました。)全体投影は会議や講演会で主に利用されている方法です。登録年数や方法に関係なく活発な意見が交わされ、各グループの意見がすぐにまとまったのが印象的でした。

10月15日(日)はNPO法人全国要約筆記問題研究会・三宅初穂理事長をお招きし、「今後の要約筆記派遣事業への提言」をテーマにご講義いただきました。参加者は21名(要約筆記者17名・NPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会4名)でした。2015年10月に出された「今後の要約筆記事業についての提言」を検討した経緯やポイント、現在取り組まれている「第2次要約筆記ワーキンググループ」での検討課題などを解説いただきました。

要約筆記事業のあり方を改めて見つめ直し、今後の動向に注目する良い機会になったのではないかと思います。研修で学んだことを今後の活動に活かしていただきたいと思います。



◎消防局救急隊員対象研修を行いました◎

10月11日(水)～12日(木)の二日間、消防局救急隊員対象に「川崎市緊急手話通訳者派遣制度と聴覚障害者とのコミュニケーションについて」をテーマに研修を行いました。前半は職員による講義を行い、後半はNPO法人川崎市ろう者協会から2名、NPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会から1名の方々に協力していただき、救急隊員と一緒に模擬訓練を行いました。「聴覚障害者」と一言と言っても、「ろう者」と「中途失聴者・難聴者」それぞれのニーズは異なることを、講義や模擬訓練に加えて、当事者の3名の方々からの実体験等のお話を聞いて、理解が深まり、今後の緊急時の対応がより良いものになることを期待しています。



◎警察署での聴覚障害者理解を深める取り組み◎

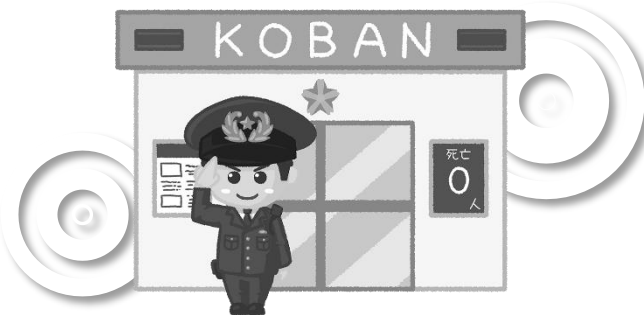
中原警察署(9月27日)、幸警察署(10月26日)、川崎警察署(10月25日、26日、27日)にて、警察官対象の「聴覚障害者等への配慮と適切な対応について」の研修を行いました。警察官を対象とした研修会は平成23年度に中原警察署からスタートし、現在、3箇所の警察署で毎年研修が行われるようになっていきます。

事の発端は、平成23年に聴覚障害女性が川崎市中原区内で交通事故に遭い、交通事故現場での現場検証の際、聴覚障害女性が現場にいた警察官に手話通訳者を要請したのにも関わらず、手話通訳者の依頼方法が分からないために、その要請が受け付けられなかったという問題が起きました。NPO法人川崎市ろう者協会はこの問題を看過できないという判断の基に、警察署への抗議活動等の取り組みが

あり、中原警察署としても、今後も同様の問題が発生しないようにするために、聴覚障害者への適切な対応ができるようにすることを目的とした研修会を開催することになったという経緯があります。

「補聴器をしていても音声は聞こえても何を言っているのか分からない」「日本語が苦手な方がいる」「発音がきれいだからといって、音声での会話が出来るとは限らない」など聴覚障害者の多様な姿を初めて知った方が多かったように感じました。また、分からなくてもうなずいてしまう癖のある聴覚障害者があり、「うなずく」行為が「理解した」という意味ではない可能性があることや、単語レベルは理解できても、日本語となると意味がつかめない聴覚障害者もいるというケースを挙げながら、聴覚障害者と接することになった時、聴覚障害本人に手話通訳が必要かどうかを確認する必要があることを学んでいただけたと思います。

このような研修の機会を定期的に行なうことで、聴覚障害者に対する理解が深まり、適切な対応ができる警察官が増えていくことを期待したいと思います。



◎実習生受け入れ◎

日本福祉教育専門学校：1名 8月26日(土)～9月13日(水)

国立障害者リハビリテーションセンター学院：1名 8月26日(土)～9月1日(金)

◎センター見学実施◎

7月 2日(日) 手話奉仕員養成講座<入門編> 受講生約30名

8月 2日(水) 中原警察署新人警察官 3名 引率2名

8月 3日(木) 相模原市障害福祉サービス課 2名

9月13日(水) 川崎市障害福祉課、オリンピック・パラリンピック推進室 2名

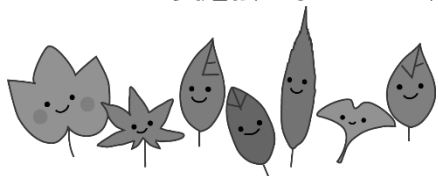
当センターにお越しくださり、どうもありがとうございました。この経験を生かしてくださる事を願っています。

◎意思疎通支援担当者研修会に
参加してきました◎

7月19日（水）～21日（金）の三日間、京都で意思疎通支援担当者研修会が開催されました。

全国の同じ手話通訳者や要約筆記者の派遣コーディネートを担う方々が集い、様々な講義を受け、グループ討議が活発に行われました。熊本地震の時の支援の様子についての話は、川崎市が被災した場合も近隣の県が被災して支援する側になる場合も、情報文化センターがどのように動けば良いのか、何を事前に準備しておく必要があるのか、具体的に考える良い機会となり、身が引き締まりました。

都道府県の情報提供施設と政令指定都市の情報提供施設では、抱える課題が異なることも多いですが、目指している目標は同じなので、それぞれの意見一つ一つが大変勉強になった三日間でした。



◎地域包括ケア全国実践研究集会
10月7日（土）◎

日本社会福祉士会主催の「地域包括ケア全国実践研究集会」に参加しました。サブテーマは、地域共生社会を拓く地域包括ケアシステムとソーシャルワーク ～「受け止める」から「行動する」へ～です。

午前中に講演が2本。午後は3名のシンポジストによるシンポジウムでした。この集会は「実践研究集会」の名の通り、実践者の具体的な実践活動の報告が中心で、通り一遍の支援にとどまらない、アクティブな実践例におおいに刺激を受けました。分野は違えども、ソーシャルワーク機能というものは共通しており、これを使っていくことで社会的弱者の生活ニーズを充足させ、より良い環境を作って（創って）行くというプロセスに変わりはありません。ちょっとしたアイデアやひらめき、発想力というものが求められていることも良く分かりました。

日頃の業務に忙殺されがちではありますが、小さくても、アイデアを出せるよう心掛けたいと思います。

◎植野弘子さん、27年間本当におつかれさまでした！ありがとうございました。◎

川崎市聴覚障害者情報文化センターの前身、聴覚障害者情報保障事業の頃から手話通訳者の派遣・調整をガッチリと支えて来られた職員、植野弘子さんが9月末に退職されました。

「植野さんの顔を見るとホッとする」「声を聞くとホッとする」という声は職員も含め、たくさんの方々から寄せられました。9月16日（土）夕方にはロビーで関係4団体と職員がおつかれさま会を行い、団体代表の皆さん、元職員の方からの言葉、きれいな花束が贈られました。

派遣コーディネーターは現在募集していますが、川崎市登録手話通訳者の中野まり子さん、西村ひろみさんが派遣業務のサポートのため10月から勤務しています。皆さん、よろしくお願いいたします。



長い間、本当にお疲れ様でした。



ビデオ通信 63

●センターよりお知らせ



センターの制作DVDの紹介

- ・平成29年度手話奉仕員養成講座入門編、基礎編
- ・平成29年度手話通訳者養成講座通訳Ⅰ、通訳Ⅱ
- ・平成29年度聴覚障害者福祉講座
「特定非営利活動法人川崎市ろう者協会の歴史」
「手話奉仕員・手話通訳者養成について学ぶ」
- ・平成29年度聴覚障害者生涯学習講座
「法律なんて自分には無縁
ーそう思っている人はいませんか?ー」

貸出ベスト5

(平成29年7月1日から平成29年9月30日現在)

順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	153本
2位	手話学習	61本
3位	教育・教材	21本
4位	映画・ドラマ	20本
5位	趣味・教養、手話番組	それぞれ7本

●データ紹介

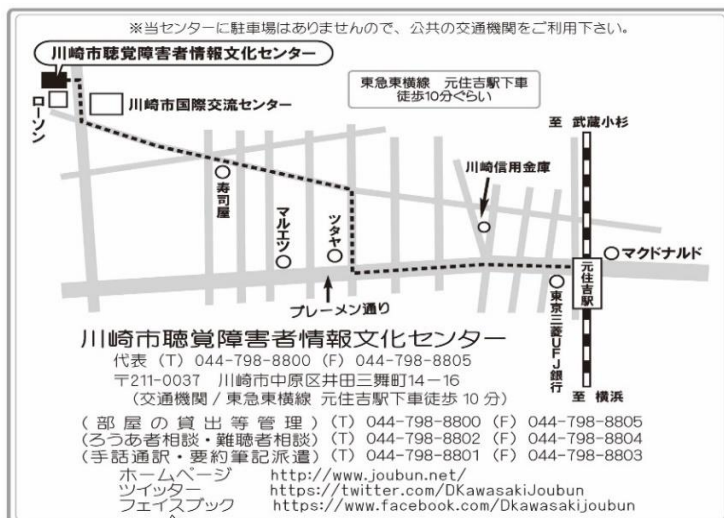
	7月	8月	9月	合計
来所者数	1,622	1,463	1,568	4,653
ビデオ 貸出数	78 (56)	109 (83)	98 (14)	285 (153)

※ビデオ貸出数の下の()内の数は、センター制作分の貸出数です。

- HPに掲載したい手話及び要約筆記の勉強会や講習会の情報がありましたら、ご一報ください。

HPのアドレス <http://www.joubun.net/>

☆積極的な情報提供、お待ちしております。☆



ツイッター 時々つぶやいています☆

<https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。
月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(休館日)

平成29年11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

平成29年12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
5	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

平成30年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成30年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

【年末年始センター休館のお知らせ】

平成29年12月29日(金)～

平成30年1月3日(水)まで

■手話通訳・要約筆記派遣受付について

■ろうあ者相談・難聴者相談受付について

年末：12月28日(木)16時まで

年始：1月4日(木)9時から

※センター休館期間は、FAXも電話もつながりません。急病のときは、FAX119かWEB119を利用しましょう。